

## 1 学校教育目標

『心豊かな人間性と たくましい実践力を 身につけた子どもの育成』

【めざす子ども像】 かしこく やさしく たくましく

かしこく 自ら学び よく考える子ども・・・考える子ども

やさしく 思いやりがあり 助け合う子ども・・・助け合う子ども

たくましく 健康な体でがんばりぬく子ども・・・がんばりぬく子ども

自分の役割を果たす子ども・・・よく働く子ども

《めざす学校像》 『家庭で育ち 学校で学び 地域で伸びる』

## 2 学校経営の基本方針

- (1) 安全・安心な学校づくりに努める。
- (2) 全教職員の総力と創意を出し合い、教育目標の実現に向けて努力する。
- (3) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成と確実な実施に努める。
- (4) 教職員一人ひとりの資質向上に努める。
- (5) 言語活動の充実・協働的な学びの推進を図り、思考力・判断力・表現力を育成する指導方法の工夫改善に努める。
- (6) 家庭や地域の願いに応えられる学校づくりに努める。
- (7) 学校・家庭・地域社会との連携を深め、しなやかな心の育成に向けての取組を推進し、自他を敬愛する心や健全な生活態度を育てる。
- (8) 地域の中学校との連携を図り、効果的な教育実践に努める。

## 3 本年度の努力点

- (1) 安全・安心を基盤とし、家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進に努める。
  - ・家庭・地域・関係機関との連携を推進し、登下校時の交通安全の徹底に努める。
- (2) 「わかる授業」を展開し、児童が楽しく通う学校づくりに努める。
  - ・校内研の充実、中学校との授業公開に努める。
- (3) 適切な児童理解や心の居場所づくりに努め、望ましい集団活動を通して、いじめや不登校等のない楽しい学校生活が実現できるよう努める。  
いじめについては「いじめ防止基本方針」に基づき、適切な対応に努める。
- (4) 道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての基礎となる考えを深め、よりよく生きていくための道徳的実践力を育成する。
- (5) 支援を必要とする児童の理解を深める指導の充実に努める。
- (6) 教育活動全体を通し、将来の生き方をみつめたキャリア教育の推進に努める。

- (7) 各教職員の特性や創造性を学校経営に生かす。
  - ・校務分掌等に責任をもち、常に改善を加える努力をする。
- (8) 楽しく運動する力や安全について実践する力の向上に努める。
  - ・諸団体・諸機関との連携を図り、活動の充実を図る。

## 4 指導の重点

(1) 安全安心な学校の構築に努める。

- ① 家庭と連携し、保護者、地域の方々と全職員で情報を共有し、児童の安全を確保する。（通学路点検・危険個所の確認、登下校時における安全確保等）
- ② 危機管理におけるマニュアル作成と訓練、情報の共有  
（地震等の自然災害への対応策、火災防止、不審者等への対応策、食物アレルギー、いじめ防止への取り組み等と対応策）
- ③ 「自分の命は自分で守る」力の育成
  - ・安全指導の徹底。（意識付けと実践）

(2) 確かな学力の定着に努める。

- ① 基礎基本の定着（読み、書き、計算等）
- ② 授業を大切にする。
  - ・「わかる授業の展開」により、学習意欲を高める。
- ③ 言語活動の充実（特に重視したいもの）
  - ・児童間の人間関係の構築。（コミュニケーション環境の工夫と学級作り）
  - ・「聞く・話す」活動の重視  
情報収集→思考、思考の深化・拡大
  - ・「聞く・書く」活動の重視（自力解決し、自分の考えを言葉でまとめ、表現する）考えを文章でまとめ、発表する等の表現力の育成
- ④ 学習規律の確立（授業中の聞き方、発表の仕方等）
- ⑤ 家庭学習の習慣化の確立（家庭との連携の中で 家庭学習の手引き配付）
- ⑥ 中学校との連携を図る。（授業形態、指導法など）

(3) 心の教育の充実に努める。

- ① 異年齢集団の活動、自分の役割を果たす経験等を通して自己肯定感（自尊感情）を育てる。（すべての教育活動を通して“自信を持たせ、やる気の出る”指導の工夫。）
- ② 道徳の授業の充実（すべての学校生活を通して、よりよい生き方を考えさせる。粘り強い心、自他を認める心等のしなやかな心の育成）
- ③ 小笠原流礼法を通して、「相手を大切に思う心」を育てる。
- ④ いじめ防止にむけ全力で取り組む。（いじめはどこにでも存在する、早く察知、的確な対応をする。）
- ⑤ 読書活動の充実（落ち着いた日々を過ごし、豊かな心育成に努める。）

(4) 基本的な生活習慣の確立（家庭との連携）に努める。

- ① 大きな声で「あいさつ」ができる子どもの育成
- ② 「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣化
- ③ 「ありがとう」などの感謝の気持ちを表せる子どもの育成